



みえないおしごと とくながけい / 著

見慣れたあれこれが、覗いてびっくり！回転ずしは人力で、公園の噴水は、実は。自由でユニークなアイデア、ノスタルジックなタッチと巧みな構図で、読者にページをめくる楽しみと新たな視点を与えてくれる絵本です。



変な地図 雨穴 / 著

大学生栗原の祖母が、正体不明の古地図を握りしめて、不審死を遂げたという。7体の妖怪が描かれた古地図。これはいったい何なのか。謎を探るため、栗原は旅に出る。あなたには、この「古地図」の謎が解けますか？



中年に飽きた夜は 益田 ミリ / 著

これは漫才か、人生の叫びか？さあ、深夜のファミレスへ。50歳たちのゆる笑い劇場が始まる。笑って、納得！言えなかったモヤモヤもすっきり！！新しいことを見つけたい気持ちは、この胸の中で枯れずにいる。

Books

今月オススの



本を紹介します



中央公民館の図書室からオススの本をご紹介します。

問 中央公民館図書室 (Tel 565-2434 内線 2121)

川俣分庁舎だより

110番通報の適切な利用

「110番」は、事件事故専用緊急通報電話で、福島県内は全て通信指令課で集中受理をしています。通報の際、その内容は担当が順番に質問しますので、落ち着いて答えてください。相談など、緊急を要さない場合は、最寄りの警察者や警察相談ダイヤル「# 9110」にお電話ください。

★福島警察署川俣分庁舎 Tel 024-566-3121 ★



福島県政 150 周年記念・官民ネットワーク募集

福島県は令和 8 年 8 月 21 日に県政 150 周年を迎えることから、一緒にお祝い、盛り上げてくれる企業・団体を募集中です。興味のある方は申請フォームから申込ください。

登録申請はこちら！

- ①申請フォームよりお申込み
- ②必要事項を入力
- ③登録完了



福島県 150 周年

【問い合わせ先】福島県文化振興課
(Tel 024-521-8633/mail kensei150th@pref.fukushima.lg.jp)

ダニエル先生の DAYBOOK Vol.28

イギリスに住んでいた古代ケルト人は、1年の終わりを 10 月 31 日として、その夜に死者の霊や悪霊が現れると信じていました。その悪霊から身を守るために仮面をかぶったり火をたいたりしたのがハロウィンの始まりのようです。そこで今日はイギリスの不気味な伝承や物語について紹介します。

1800 年代初頭、シュルーズベリー伯爵が自宅であるアルトン・タワーズに戻ると、どこからともなく老女が現れ、「コインを 1 枚だけいただけませんか？」と頼みました。しかし、伯爵が拒否すると、雷が落ち、風が吠え、森が彼の周囲に迫ってくるようでした。老女は、「今後、この古い櫛の木が倒れることがあれば、あなたの家族にも同じ



ことが起こるだろう」と話し、去って行きました。その夜、櫛の木に雷が落ち、家族の一人も倒れてしまいました。パニックに陥った伯爵は、老女が魔女であったことに気づき、使用人たちに木をすべて鎖でつなぐよう促しました。今でも、この木は鎖でつながれていて、自宅であるアルトン・タワーズは現在、英国最大のテーマパーク・リゾートとなっています。

イギリスにはこの他にもたくさんの伝説があります。ネッシーの伝説もその一つです。川俣の伝説についても教えてください。それでは、私のハロウィーン・コスチュームをお楽しみください。



Smile of This Month



今月のスマイル

大好きな我が子の笑顔を、広報かわまたに掲載しませんか？
掲載を希望される方は、総務課へ電話（内線 1105）、またはメール
（soumu@town.kawamata.lg.jp）で問い合わせください。



ゆうご
香野 友吾 くん（小神・5歳）

いつもニコニコ、元気いっぱいの友吾。天真爛漫な笑顔にいつも癒されています。宇宙が大好きで、毎日色んな星を描いたり作ったり。「大きくなったら宇宙飛行士になって月に行きたい」と話す姿に成長を感じます。どんな夢も応援しているね！これからもその太陽のような笑顔でのびのびと育って行ってね… パパ、ママより♡



ひろと
菅野 大翔 くん（福沢・5歳）

5歳になってから、今までよりもいろんなことに興味を持つようになり、なんでも自分からやってみたい！と挑戦する姿が増えて、とてもかっこいいです。最近、製作が好きで家やこども園でも自分で工夫しながら、たくさんものを作って楽しんでいます。これからもたくさん遊んで元気に成長してね… ママより♡

近畿大学レポート -KINDAI UNIVERSITY REPORT-

vol.14



3枚のチケットのうち1枚は、運命のくじを引いて店舗が決まります！

農学部 農業生産科学科
近大コラボ商品販売



11月22日から24日にかけて旧飯坂小学校で開催された「Kawamata Coffee Festival 2025」。今年から近畿大学と川俣町の共同の開催となり、近畿大学からは計30名が参加し、出店・受付、会場整備などに携わりました。

経営学部
「わ」コーヒー



経営学部 沼珈琲



経営学部3年
齋藤 涼真 さん

出店依頼や営業をしてイベントを運営することの大変さを実感しました。一方で会場に来たお客さんの笑顔を見て達成感も感じることができました。



経営学部3年
人見 汐音 さん

町内外から多くの人に来ていただき、コミュニケーションを取る中で、人の温かさが一番印象に残っています。また、例年より売り上げも多く良かったです。